

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



本当に女の子になる

暗示

本当に女の子になる

暗示

それじゃあ
早速始めるわね。

あなたは
私の指示に
従うだけで
大丈夫だから。

は…はい！

「女の子になる暗示」
というショーの
リハのバイトとして
俺は派遣された。

これからあなたは
女の子になります。

そして
それを心から
望んでいる男の子。

望んでない
けどな！

そうですね？

は、はい！

まさかこれが

じゃあ、
目を閉じて
想像なさい。

自分の理想とする
女の子の姿を。

自分の人生を
大きく変える事
になろうとは…

女の子に
なりたくて
仕方がない。

そして女の子に
なっていく自分に
嬉しさが隠せない。

俺が追っかけてる
アイドル佐倉朔

まさに
理想の女の子。

想像できた？

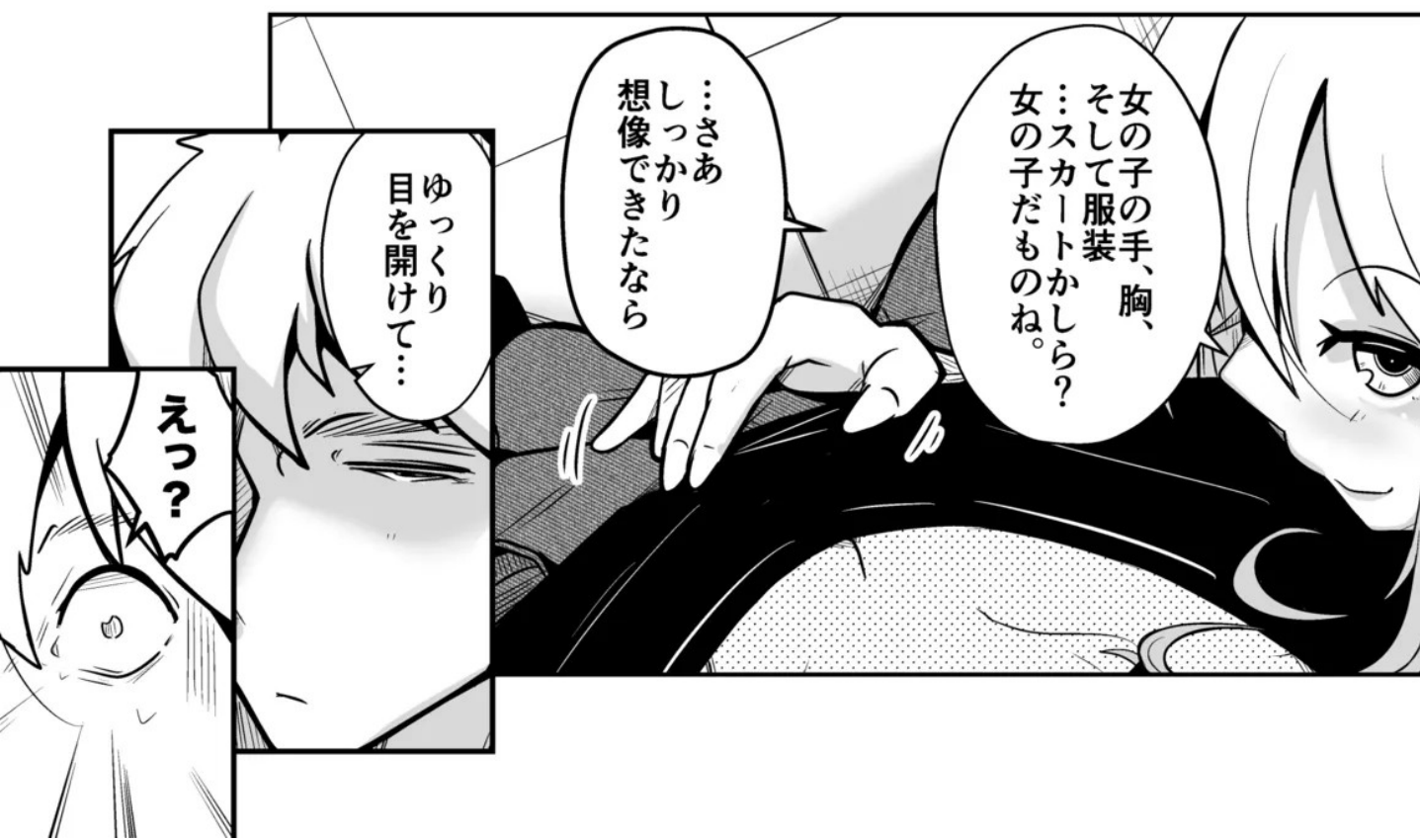
どんな子
かしら？

ぱっちりした
二重で
笑顔が眩しくて
かわいくて…

すっかり想像
できた？

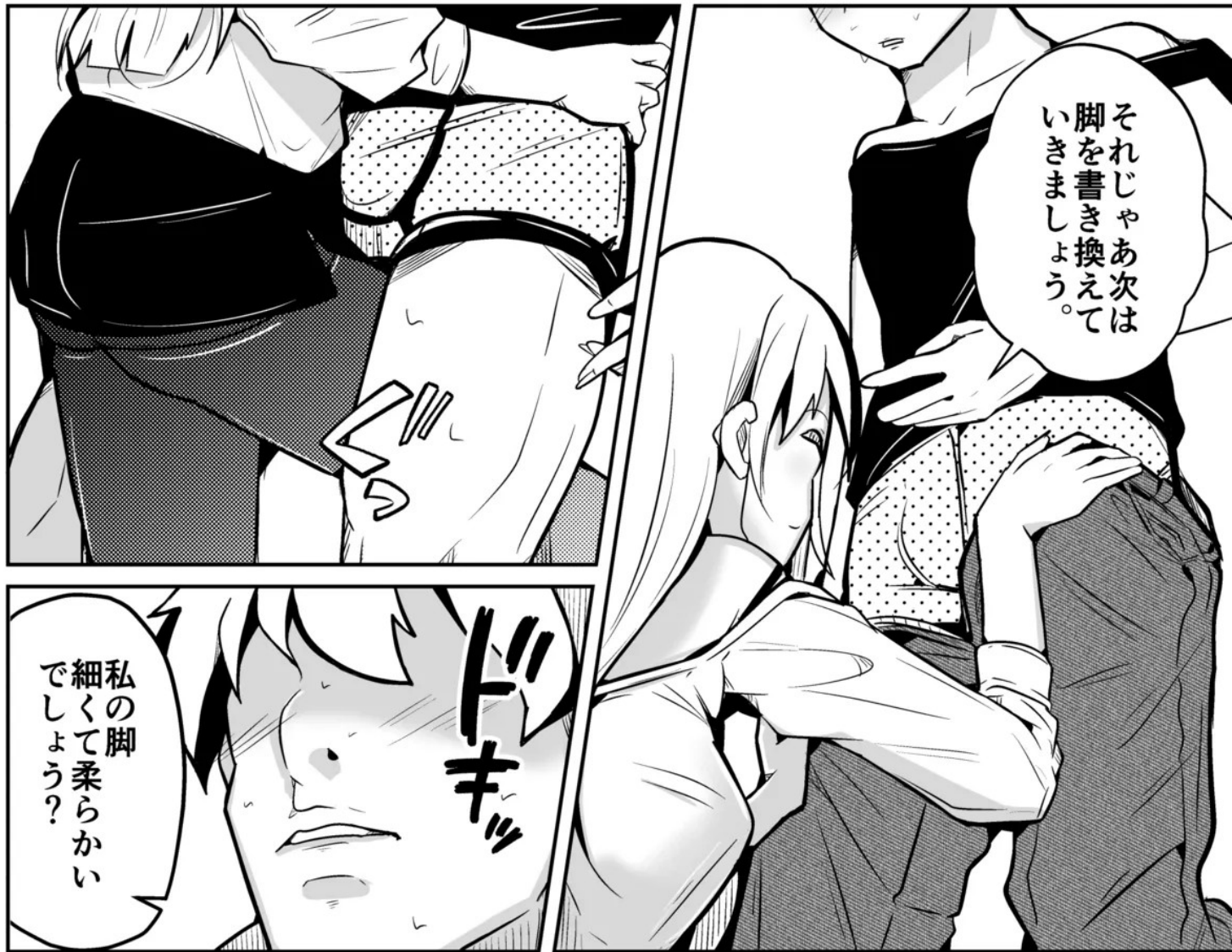
はい。

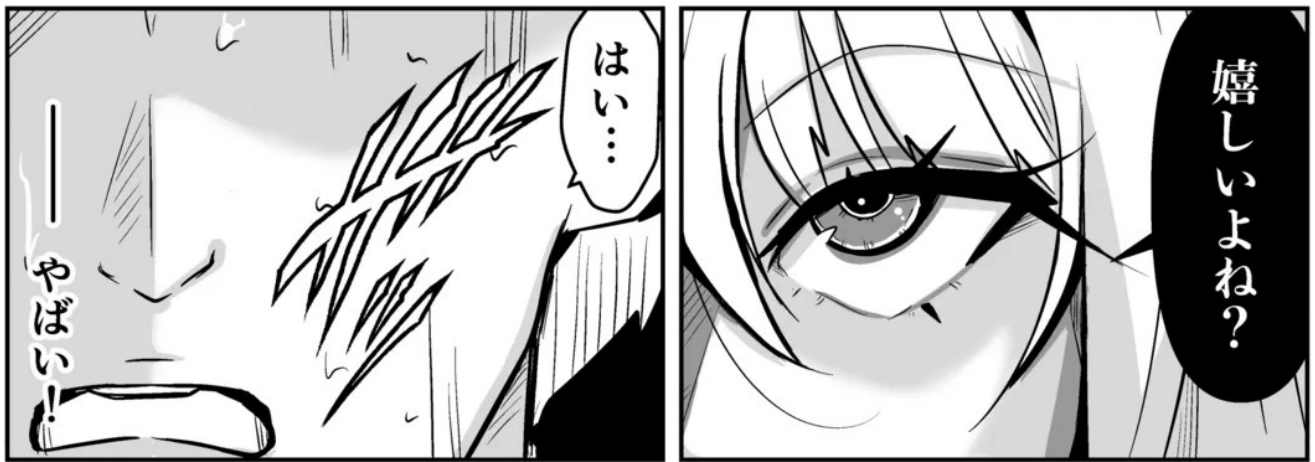
貴女は
今思い描いた
理想の女の子に
なってるの。











そうだい落ち着け。

余計な事は考えるな！

これは何かの
トリックに
違いないんだ！

そうそう。
細く柔らかく
なっていくわ。

ほら

こんなにも
スベスベ。

言われた通り
想像するんだ！
朔ちゃんの脚を！

足のラインが
緩やかな曲線に…

ぐっ…

太ももが
内側に近づいて
自然に膝同士が
触れるね。

ただ
それだけなのに
意識しちゃう。

柔らかさも
感触も違うから。

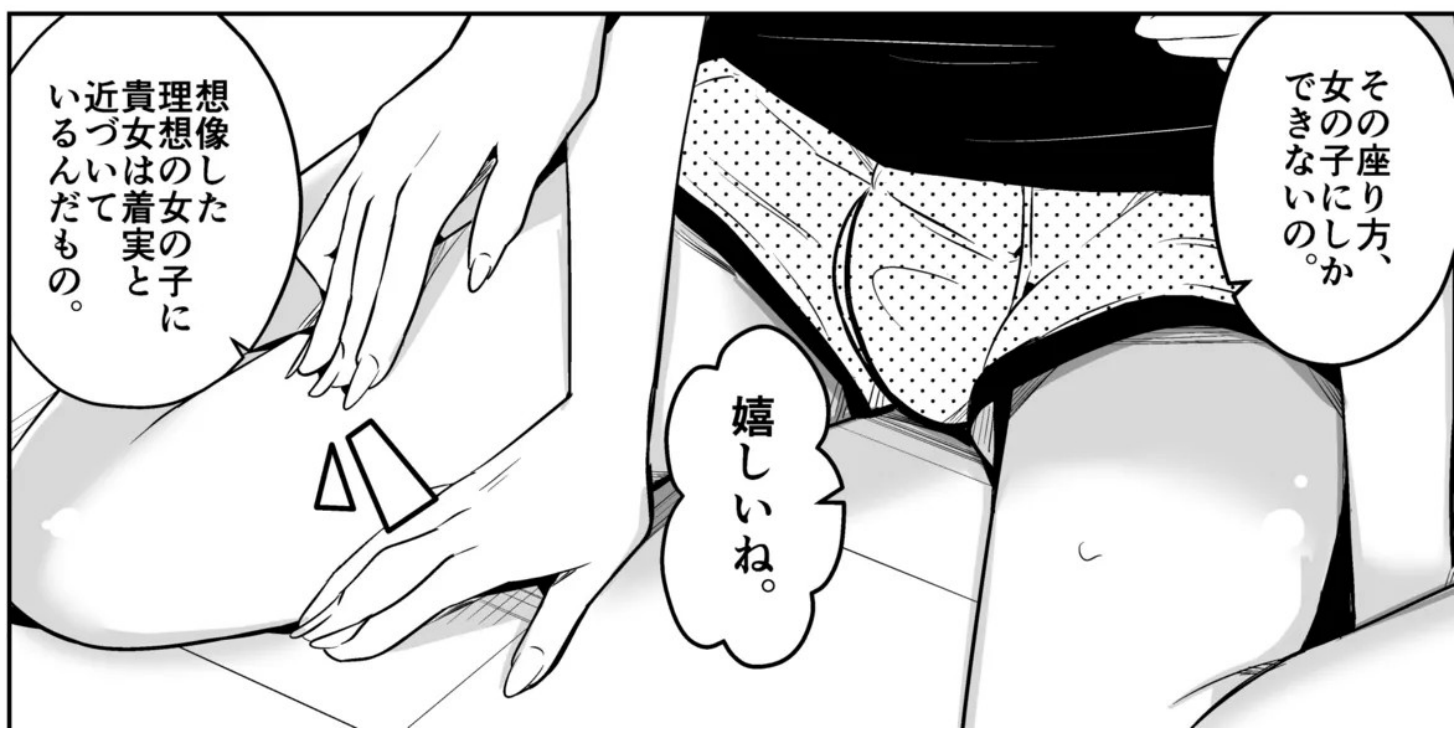
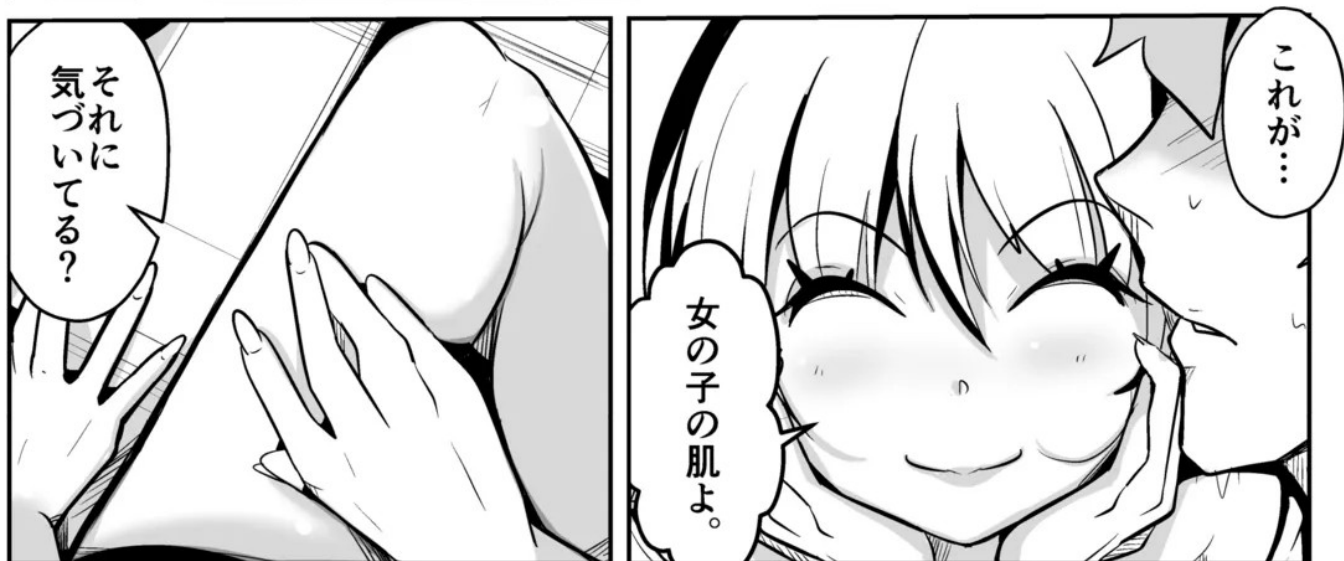
そうそう。

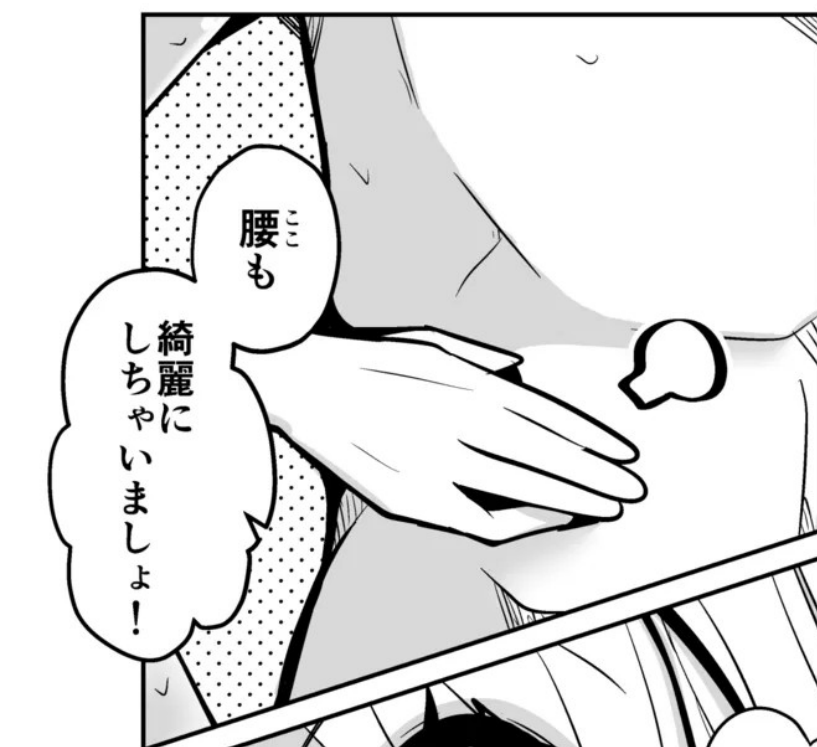
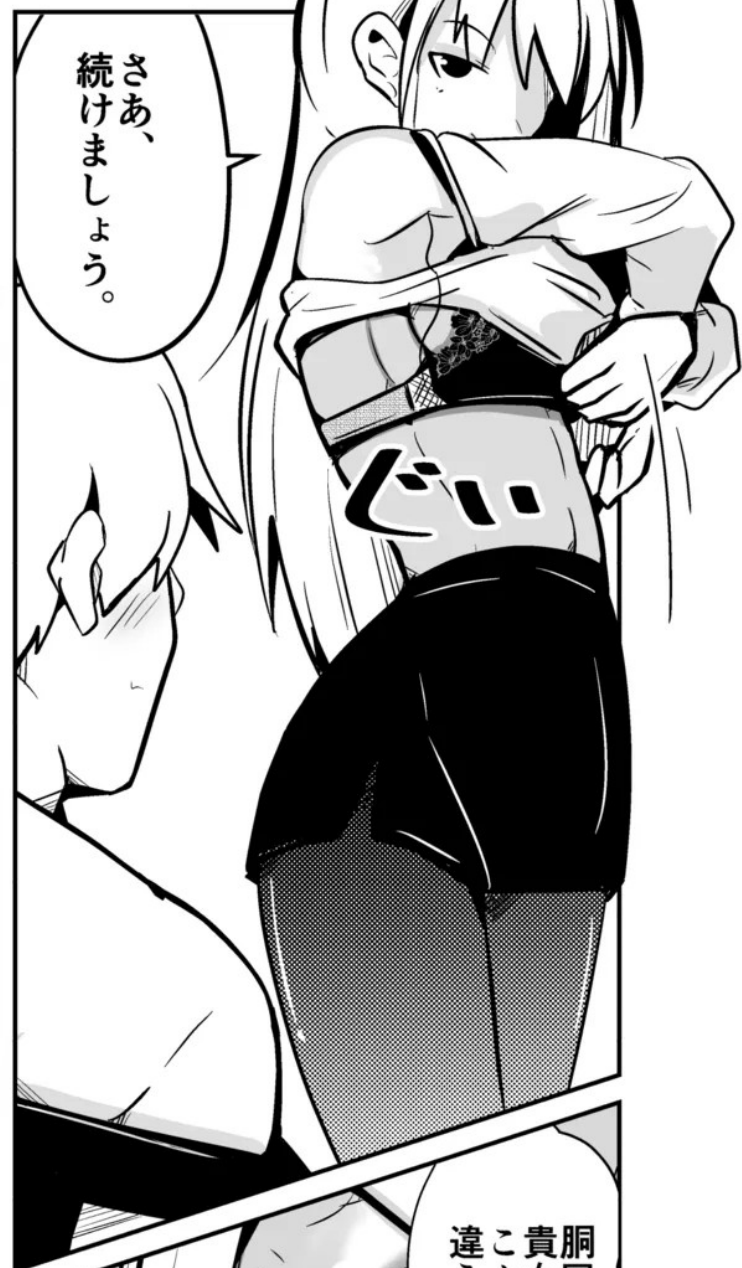
重心も変わって
筋力も
落ちてるから

わっ！

ほら

立てなく
なっちゃった！





じゃあ、
想像しよっか！

貴女の
理想の女の子。

その子の腰は
どんなだった？

きゅつと
しまって細くて、

でも、
それだけじゃない。

骨盤が大きく、
くびれを
強調させる。

そして
柔らかいわ。

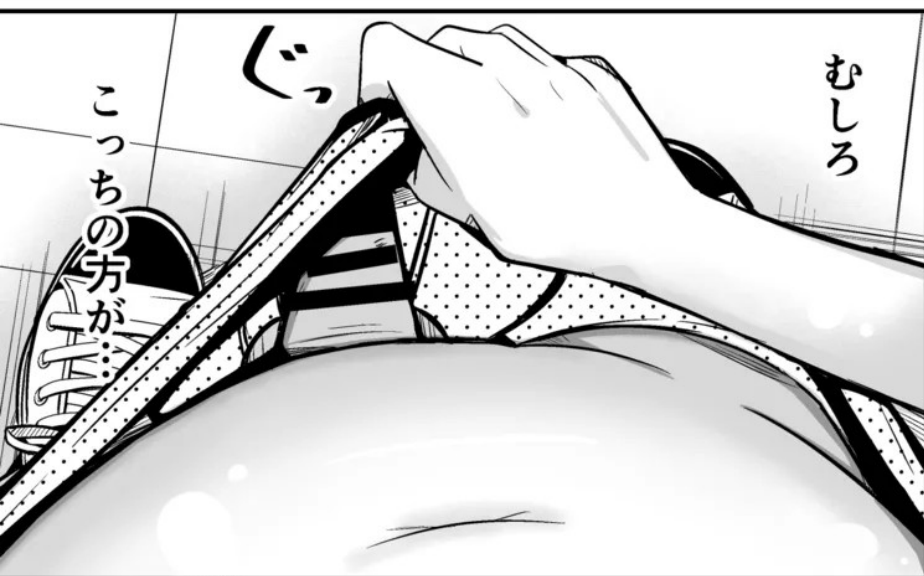
ふに



細くなった腕、脚、

あんなにも
違和感があったのに

元から
こうだったようない



むしろ

こっちの方が

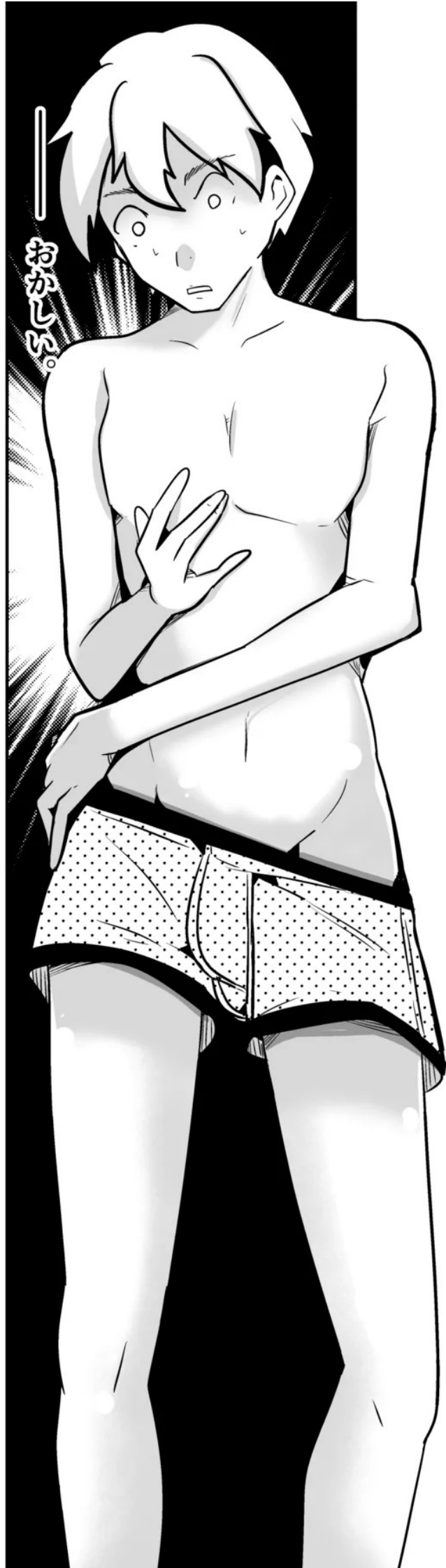


ほら、
見てごらん。

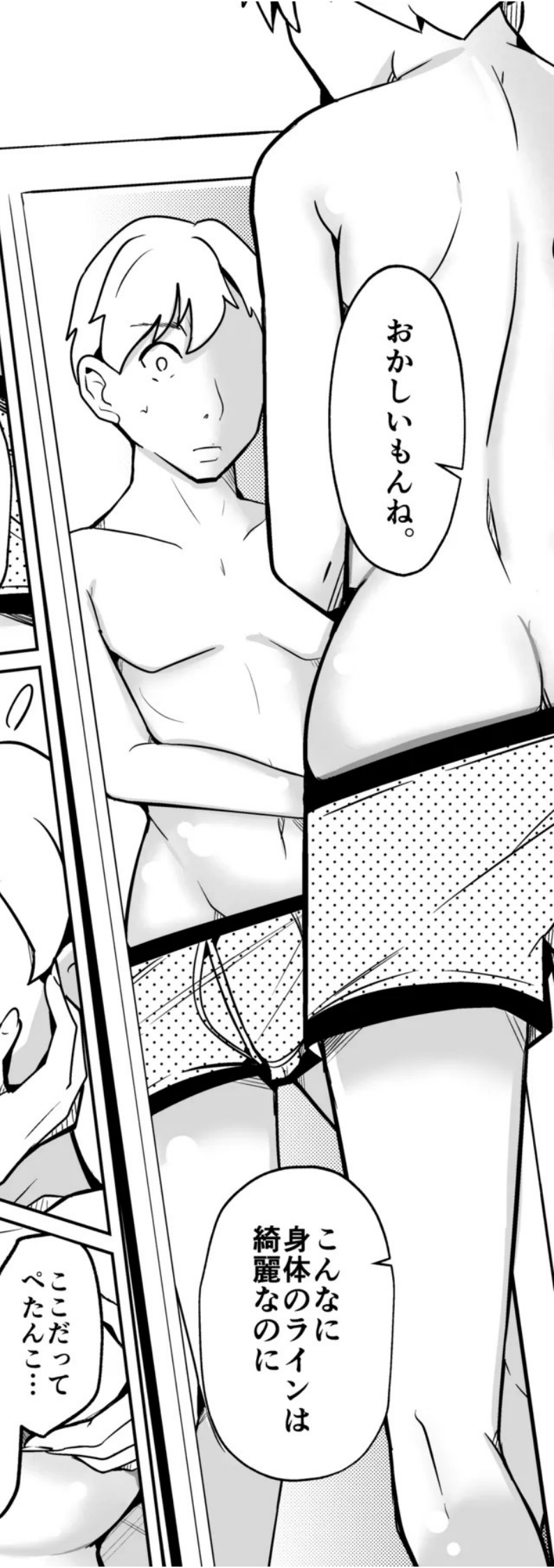


そうだね。

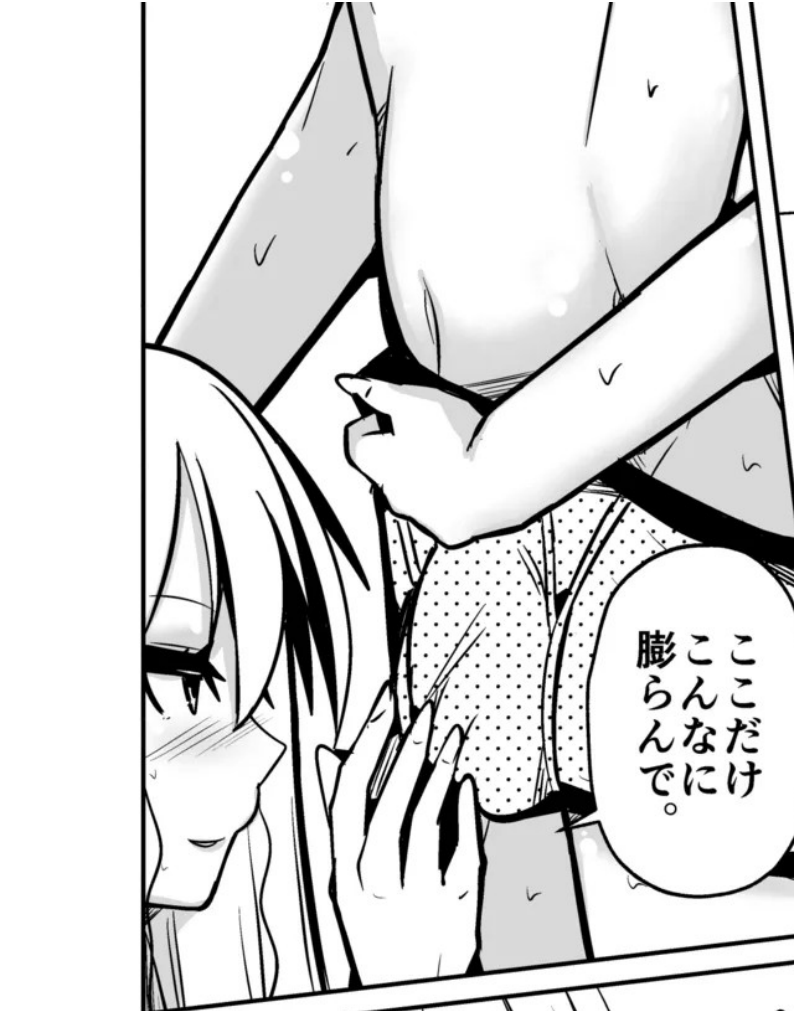
おちんちん、
違和感あるね。



——
おかしい。



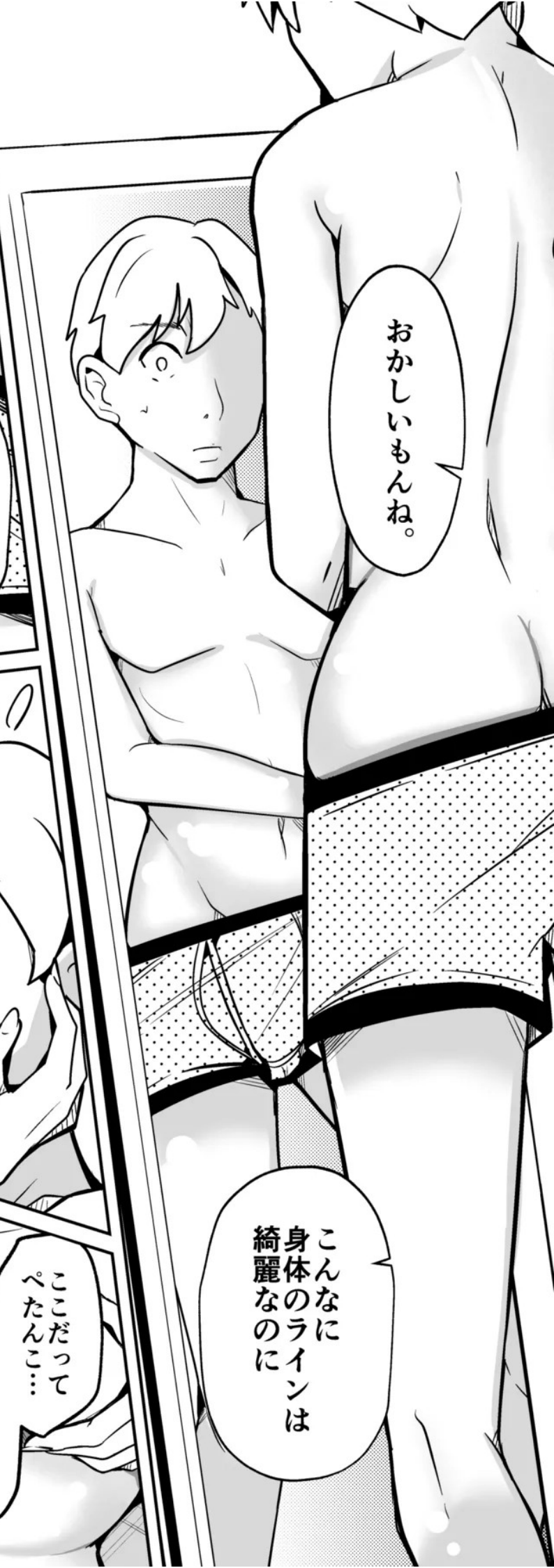
おかしいもんね。



ここだけに
膨らんで。



それに顔も



こんなに
身体のラインは
綺麗なのに



ここだって
ぺたんこ…



…嫌だよな？



いや…です。



じゃあ、
どうなりたい？

おれ…
女の子…に

そうだね。
なりたいね！

なりたくない…

何言ってるんだ？
俺…

女の子になんて

なりたくないわけじゃ…

だって
あなたは

女の子に
なりたいん
男の子だもん。

…はい。

それじゃ
目を閉じて。

ムチッ

想像しなさい。

貴女の
理想の女の子。

目はぱっちり
二重だっけ？

まつ毛も
長いんじゃない？

何か
覆い被さる
ように

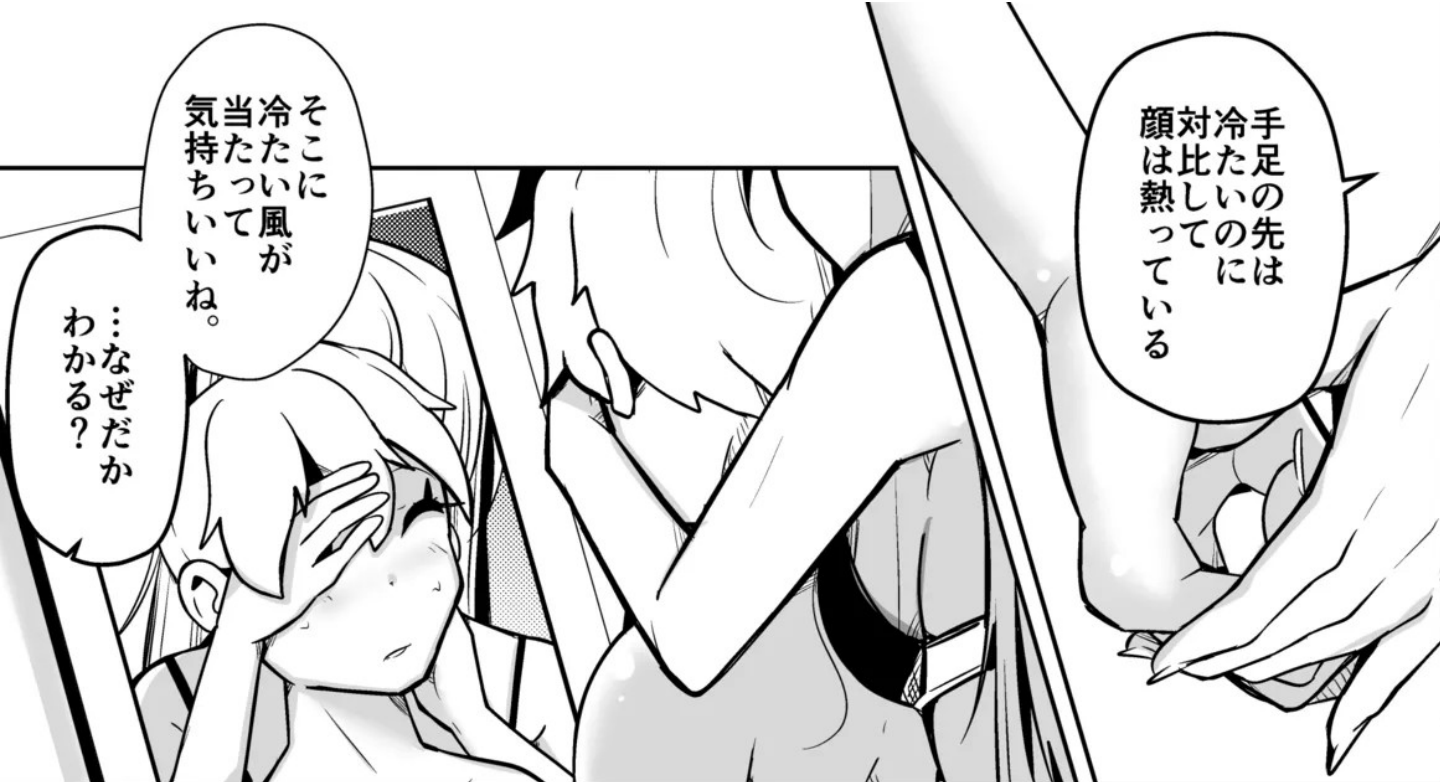
目元が重く
なったでしょ？

でも、それが
自分の体の
一部みたい

それに
まつ毛の先が
瞼に触れて
チクリとする。

でも、
目元だけじゃ
ないわ。

目を瞑っていても
変化がわかるね。





だんだんと
ボリュームが
増していく毛髪。

その一本一本が
繊細でまるで
シルクのように。



肩に髪が
当たって
ゾワッとする。

風でなびく髪が
首筋を撫でて
こそばゆい。



目を瞑って
いるのに、

：いいえ
瞑っている
からこそ
変化を敏感に
捉えるの。



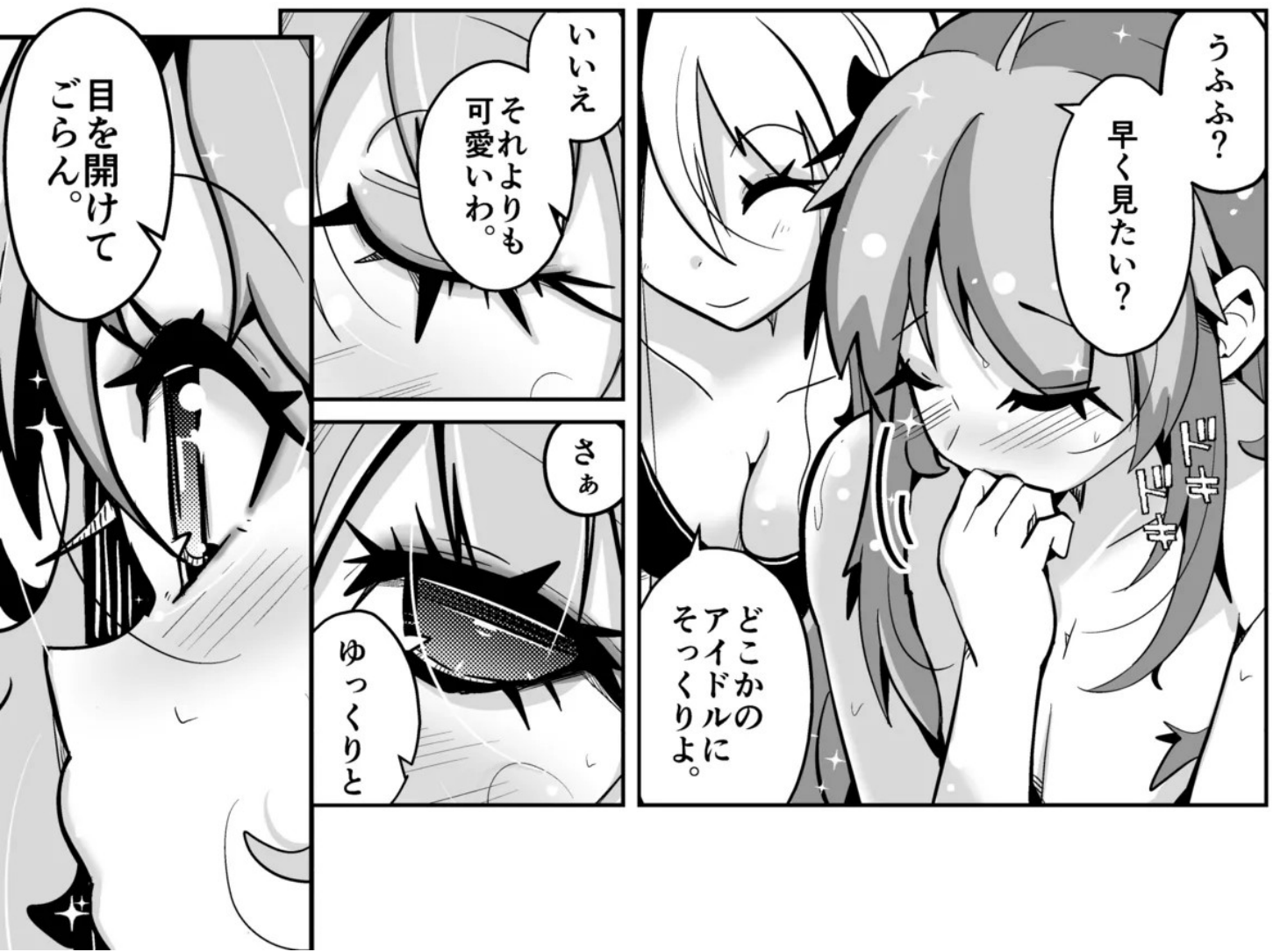
甘い香り。
女の子の匂い。

取り巻く空気が
貴女をより
昂らせるの…。



さあ
次は髪よ。

しっか
り想像
なさい。



そこに
見えるのは

貴女の理想の
女の子の顔。

ああああ

うわあああああ！

気づけば俺は
喜びに
満ち溢れていた。

さ！

せっかくだし
服も変えちゃい
ましょう！

はいっ！

嬉しい？

はい！

あんなにも
なれたかった
憧れの女の子に

近づいていると
言う喜びに。

想像してみてください。

貴女は
バニースーツを
着ているの。

ピッタリと
体のラインに
密着して

嫌でも
意識する。

はらっ

その締め付けで
貴女の
柔らかい肉の
食い込みを…。

ぎゅっと
押さえつけられて
実感する。

ああ、これが
女の子の体
なんだって。

…でも

すぐに
否定される。

あなたの
腰の細さを
際立たせるわ。

股間の違和感。

ピッタリと
美しいラインから
逸脱したものが
貴女を否定する。

それは
おちんちん。

でもそれが
皮肉にも
意識させるの。

女の子の服を
着ている
という事を。

その事実
に興奮する。
貴女は

なくなっ
て欲しい
のに
欲しく
なる。
どん
どん
大き
くなる。

ほら
みて。

す
ごく
可愛
く
な
った
ね。

でも貴女は
満たされない。

……だって
おっぱいはないし、
おちんちんだって
ついたまま。

だって

私は
女の子だから…。

そうね。

こんなの
いらぬのに。

私のおっぱい
羨ましい？

コウ

あなたも
欲しい？

はい…

じゃあ
想像しなさい。

貴女の理想の
おっぱいを。



おっ

女の子が
羨むような
大きくて柔らかく

それでいて
ハリのある
乳首がツンと
突き上がって…

ふっ…

お姉さんの
おっぱい…

…どうしたの？

私、理想です。

…そう。

嬉しいわ。

では、
しっかり感じて
想像なさい。

それが
貴女の胸に
ついてると。

うん。

胸に重力を感じてくる。

胸にできた隙間が
だんだんと
埋まっていき

そして

たわわに実った
その先端は

ぽ
む

ううっ

それが女の子の
おっぱい。

…乳首よ。

布が擦れるだけで
敏感に反応する。

さあ

目を開けて。



おねえさん
///

ふふふ

ふふ。
よほど
嬉しいのね。



はい！

だから、
おちんちんは
必要ないわね。



おねえさん、
あの、わたし
これ……

もじ
もじ

そうね。
あなたは女の子。



象徴とも言える
おちんちん。

バイバイしようね。
……永遠に。

それじゃ
想像しましょう！

貴女に残った
最後の男性の部分。





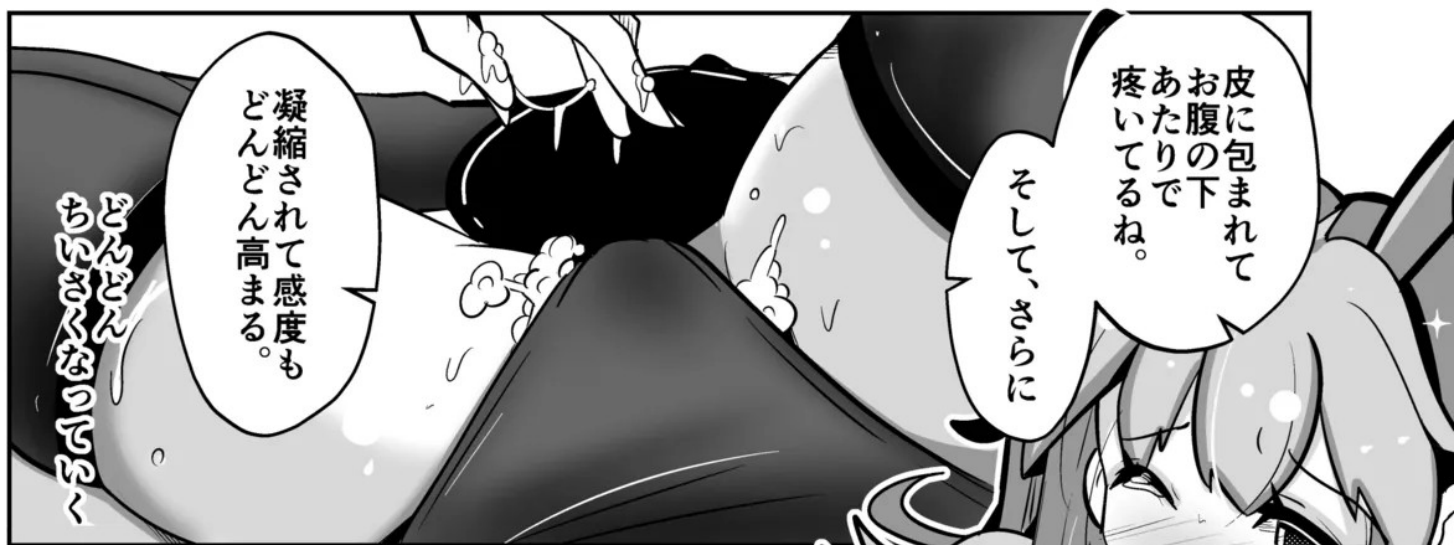
わかるかしら？

熱かった
おちんちんが
さきつちんが

ああ…わかる。

だんだんと
お腹の方に
近づいているの。

わたしのおちんちん



皮に包まれて
お腹の下
あたりで
疼いてるね。

そして、さらに

凝縮されて感度も
どんどん高まる。

どんどん
ちいさくなつてゆく



貴女は
男の子じゃ
なくなつたのよ。

ぐた



もう射精は
できない。

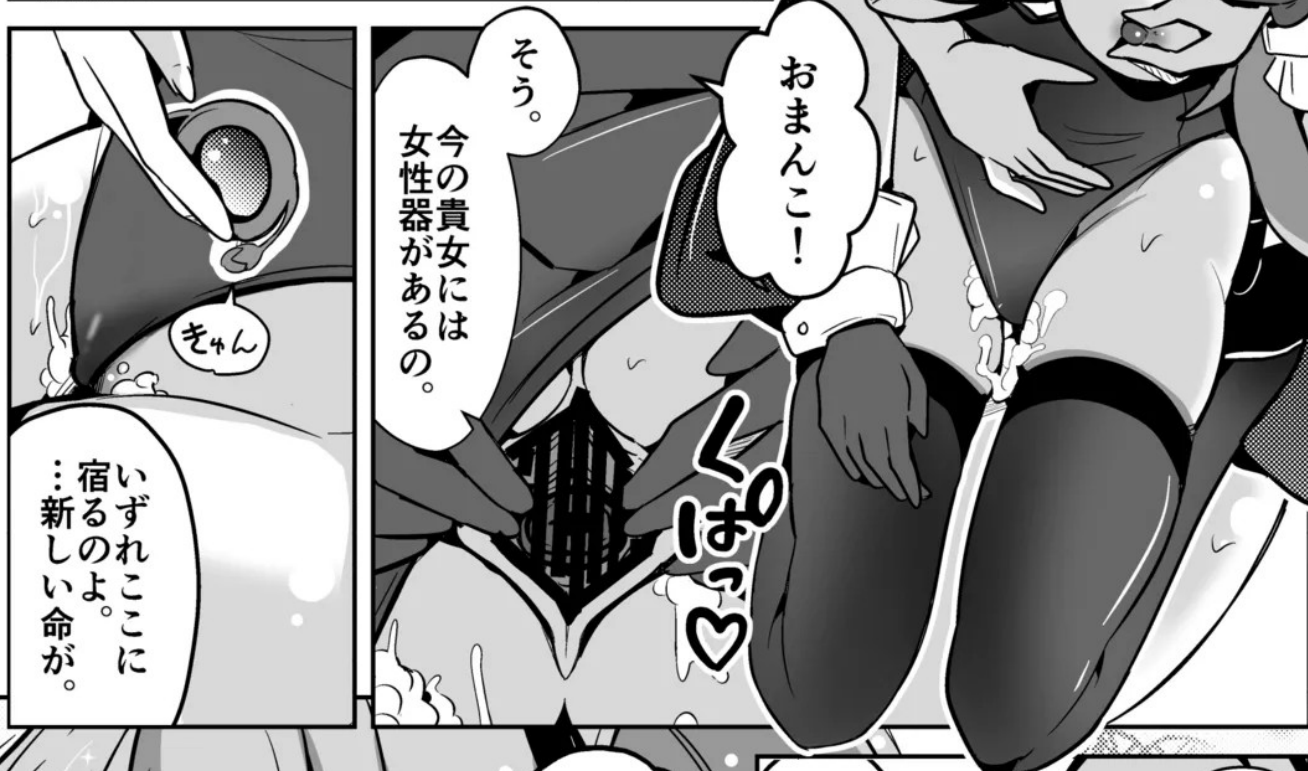
でも、



おちんちんは
すっかり
なくなつて

わずかな
突起を残して
消えちゃつた。

その証拠に
生地が
ピッタリ股に
吸いついてる。



それだけの
じゃないの。

想像してみて。

これからは、
可愛い
スカート履いて
外に出かけるの。

歩きたびに
揺れるスカート。

歩調に半歩遅れて
追いついてくる
生地が膝に
触れるたびに
貴女は意識する。

ああ、女の子の服を
身につけて
いるんだって。

それが
とてもなく
嬉しいよね？

そして、
視線も
気になるの。

みんなが
あなたの可愛さに
釘付けだから。

そんな
人たちを見て
貴女は
優越感に浸る。

だって、
あなたは

自分がこの世で
一番可愛いって
自覚してるもの！

そう。
おトイレも
違うわ。

貴女は
女の子だから、
おしっこは
座ってするし
生理だって
始まる。

女の子だから、
おちんちん
なんてないの。

そのかわり
あるのは
つるつるのワレメ。

ここにはいるの。
おちんちんが。

ここに入るの？

ええ。



そんな事を
想像していると
疼いてくるよね。

もみ

もみ

そして
知りたくなる。

女の子の
快感を。

さあ

良いんだよ。

だって貴女は
女の子だもの。

自分の
身体の事は
知らなきゃ
ダメなもの。

優しく
触れてみて。

ふう...

可愛い声
漏れちゃったね。

……そう上手。
優しく軽く
撫でてあげるの。

おちんちんみた
く
激しく刺激を
与えちゃダメよ。

ん...

あ...

ゆっくり
やさしくね。

なにこれえ……

なんか
切なくて……

男の子と
全然違うでしょ？

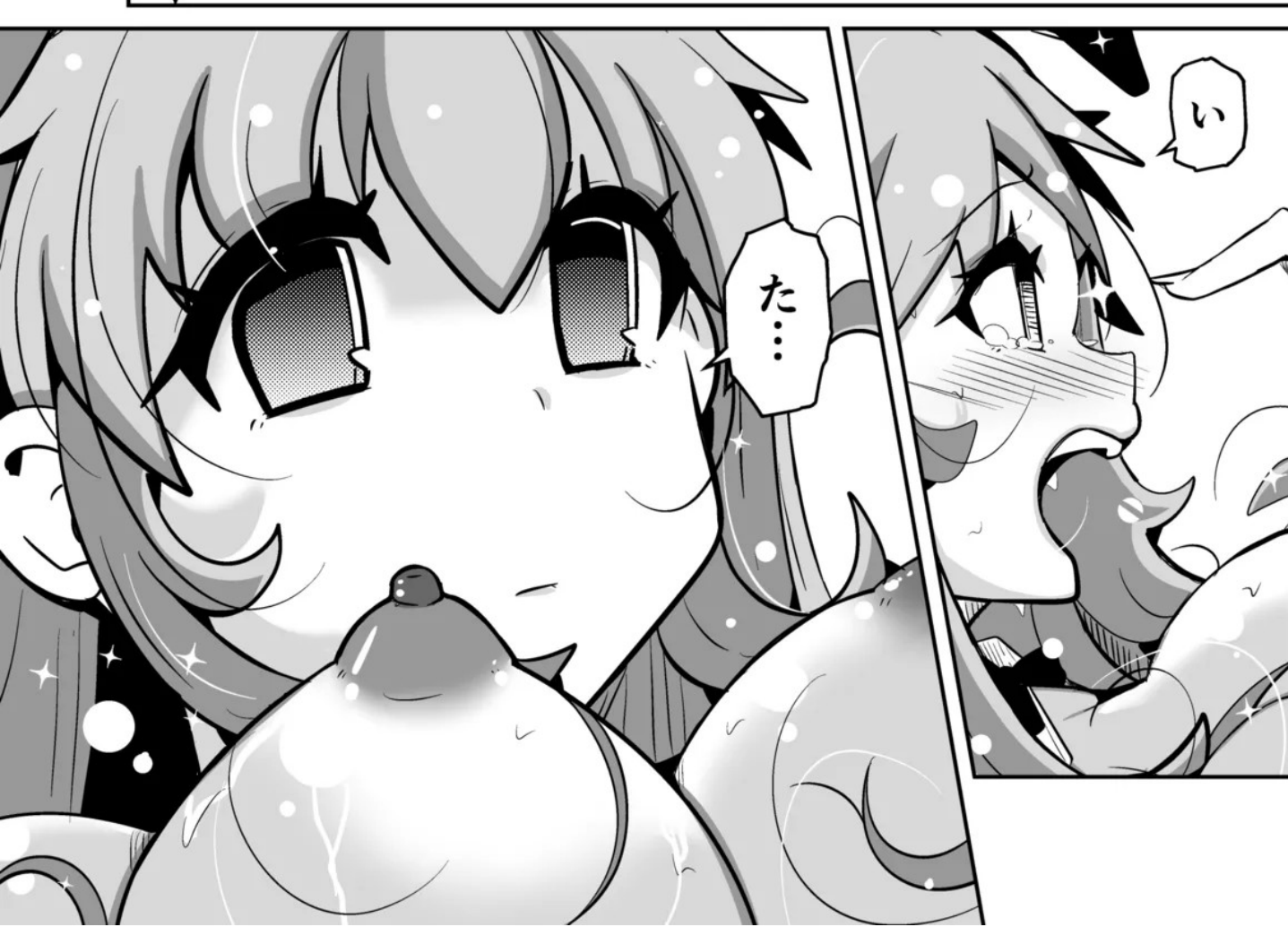
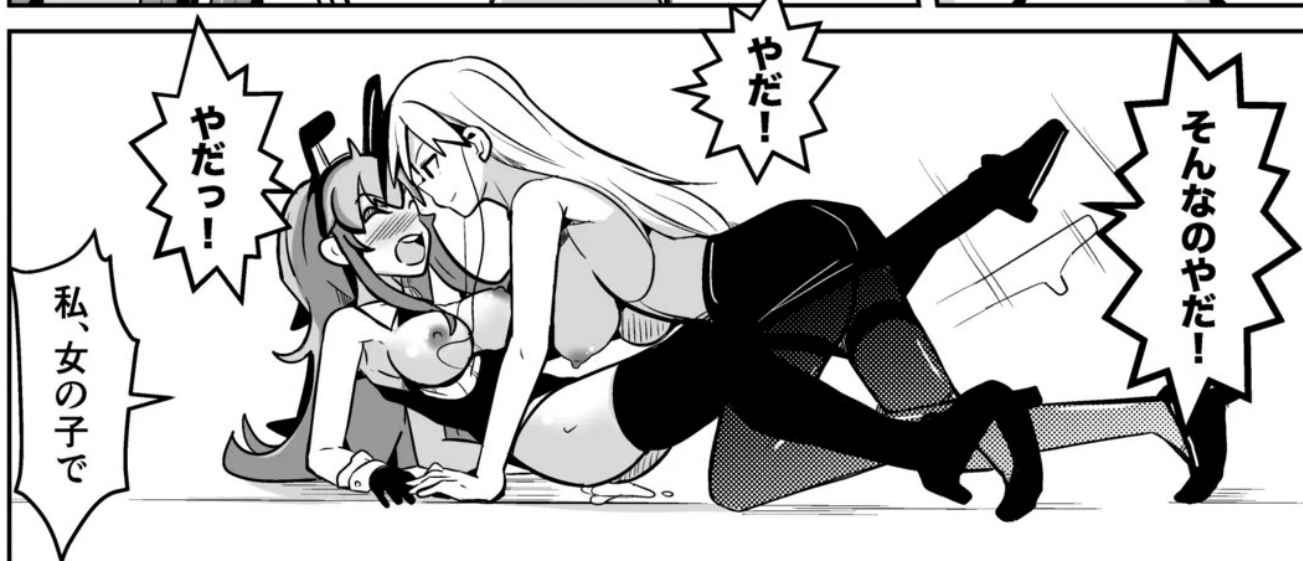
……うん。
全然違う。

お股がジンジン
してきちゃう

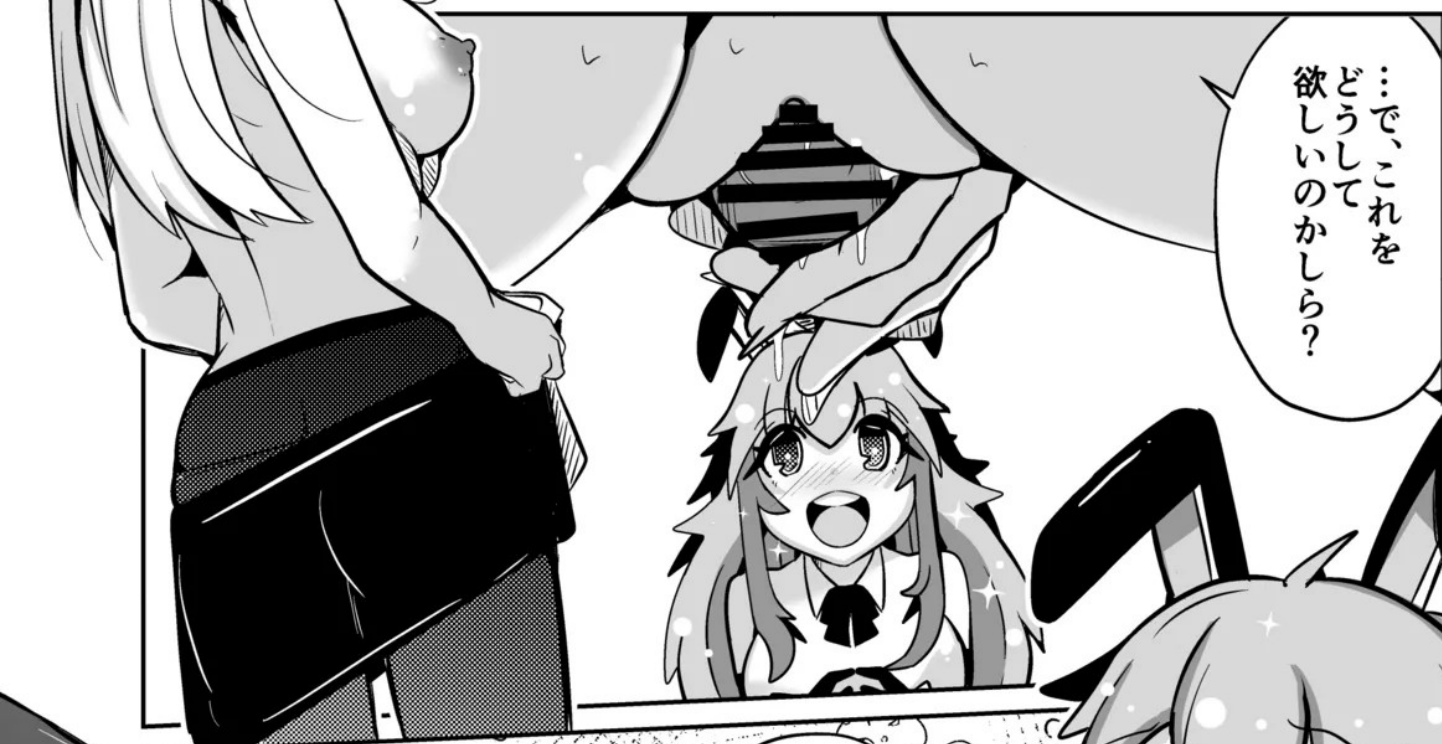
……ふふ。
濡れてきたね。

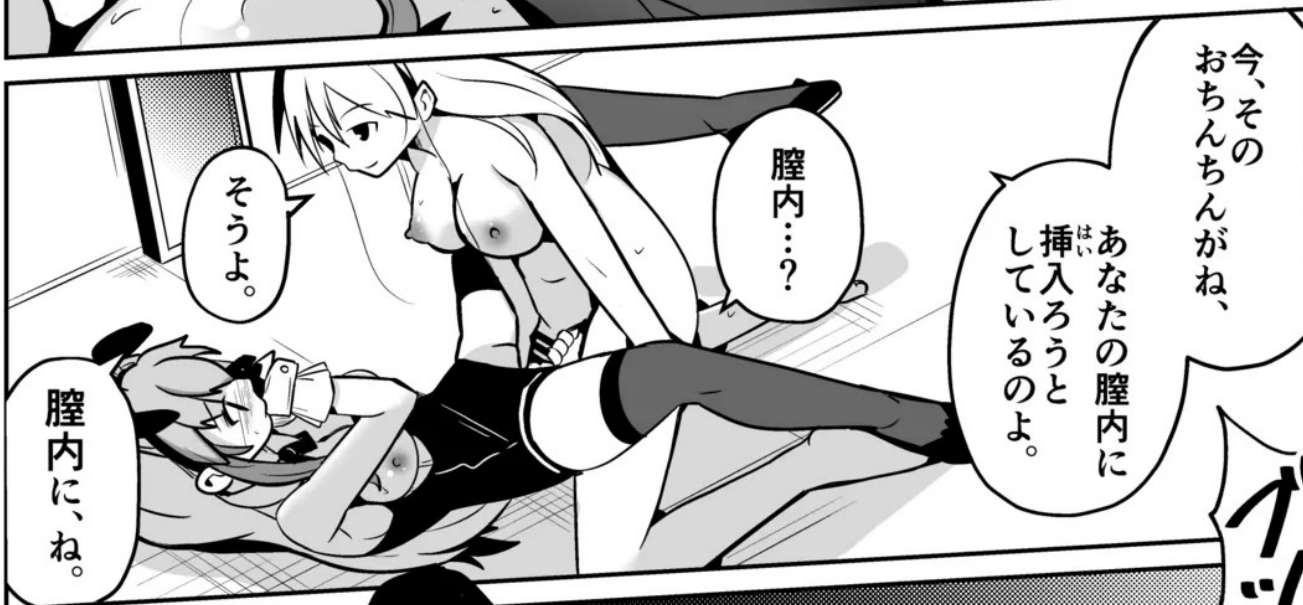
ズ...

男の快感
なんて比に
ならないよ♡











そうよ。

こうして
おちんちんを
受け入れている。

それは貴女が
女の子である
という事。

すっかり
根元まで
入ったわ。

嬉しい？

んう

それこそが
あなたの
願ひであり
悦びの根源。

…違う？

ううん。

ふふ。

ぎゅー

ぎゅーっ

コッ

じゃあ、
動くわね。



良いのよ
我慢なくて。

貴女は女の
子だから。

さあ

もっと嬌声を
聞かせて。

男の子の時は
想像も
できなかった
でしょ？

自分が
おちんちんで
突かれて

子宮きゅー
ってさせて

きゃー♡

こんなにも
えっちな声で
喘ぐなんて。

そうそう。
すごく可愛い。

あゝ♡♡



ほら

顔見て
ごらんなさい。

もう男の面影は
微塵もない。

そこに映るのは
アイドル顔負けの
美少女が蕩ける様。

これは貴女が
望んだこと。

そうよね？

はうう…
うん。

そう…

だからあ…
もっと

…ふふ。
本当に
えっちな子。

もっとお…

はげしく…

××

××

きもちいい♡

たじろ♡

女の子♡
すき♡

ビクビクして
キュンとして
幸せなの♡

カッ

…そう。
良かったわ。

わたし、
欲しい♡

お姉さんの、
せーし♡

びーん♡

びーん♡

しかたない
わねえ！



あう...

あう...

女の子お...

CR=

びゅーされてるん♡
びゅーつて♡

膣内射精っ
されてるよお♡

ゴキウ

嬉しい...



アキちゃん
指名だよ！

はい！

いやー。
大人気っすね。
彼女。

まーね。

男心を誰よりも
わかってるからね。

ま、それは
いいんだけど...

これ、
あの子のせいで
戻らないのよ。

はは...

本当に女の子になる

暗示

本当に女の子になる 暗示

2025/12/03

著者:いわした

pixiv:14897019

X(twitter):iwashitan

web:<https://www.iwashitan.com>